

中国現地法人の債権回収トラブルを減らす

# 中国現地法人の 与信管理・債権回収の視点と対応

日時：2018年11月23日（金）14:00～17:00（受付開始13:30）

会場：融孚律師事務所 第一会議室（上海市浦東新区世紀大道210号 二十一世紀センタービル15階）

主催：キャストコンサルティング（上海）有限公司、弁護士法人キャスト、融孚律師事務所

かつて中国では、「中国人と契約書を交わしても意味がない」「中国ではまともな与信調査はできない」「中国の裁判所は信用できない」といったことがよく言われ、日系企業においても取引先からの支払が多少遅れるのは当たり前、債権回収トラブルも「仕方がない」という声もありました。しかし、昨今では、日系企業各社の中国国内取引は目ざましく拡大し、債権回収に関する問題について「仕方がない」では済まされない状況になってきています。そこで、本セミナーでは、中国における債権回収トラブルの実際と、トラブル防止のための事前の与信管理の留意点を合わせて紹介します。

## ■□■ セミナープログラム ■□■

### 1. 様変わりしつつある中国債権回収事情

- (1) 重要性増す債権管理
- (2) 司法の独立性向上
- (3) 債務不履行に対するペナルティの拡充
- (4) 債権回収に関する最近のトピック

### 2. 債権回収を見据えた平時の準備

- (1) 取引先の情報把握
- (2) 債権回収の難点
- (3) 契約条項における一般的留意点
- (4) 中国の各種担保制度
- (5) 歴年の取引記録の保存
- (6) 取引先からの支払猶予の依頼には

### 3. 債権回収リスクの早期発見・認識

- (1) 信用不安チェックポイント
- (2) 会社の「衣替え」に注意
- (3) 企業の「隠れた債務」問題
- (4) 法人登記の簡易抹消制度を受けて
- (5) 時効期間についての法改正

### 4. 法的手続に至る前の債権回収

- (1) 債権回収のための事前の「仕掛け」
- (2) 債権回収のための「交渉術」
- (3) 人民法院への提訴前の事前相談

### 5. 提訴から判決まで

- (1) 利用しやすくなった財産保全
- (2) 代理人選定と訴訟・仲裁
- (3) 訴訟手続のスケジュールリング
- (4) 日本よりも事前準備が重要
- (5) 刑事手続での救済、附帯民事訴訟
- (6) 和解条件の設計・提示と決断

### 6. 強制執行

- (1) 強制執行に関する最近の法改正
- (2) 出資持分、銀行預金、売掛金の強制執行
- (3) 動産の強制執行
- (4) 不動産の強制執行
- (5) 強制執行の終了と、継続監視

## 講師

### 金藤力 日本国弁護士

弁護士法人キャスト 大阪代表



日本国弁護士（大阪弁護士会所属）。1998年京都大学法学部卒業、2000年弁護士登録。弁護士登録後は主として訴訟対応業務に約3年間、その後、上場企業法務部においてインハウスローヤーとしてM&Aを含む企業法全般に約4年間従事した経験をもとに、2008年からは中国業務を主として取り扱っている。

### 李淑芹 中国律師

上海融孚律師事務所 高級パートナー  
キャストコンサルティング（上海）法律顧問



上海律師協会所属。1984年7月東北師範大学政法学院卒業、1994年5月から律師登録。刑事弁護、債権回収訴訟代理、不動産業務に約4年間従事した経験をもとに、2001年大阪市立大学法学院民法修士学位取得、日本国村尾龍雄法律事務所研修を経て、専職律師としてM&A、会社清算、労務、不動産など日本企業中国進出業務を主として取り扱っており、豊富な民事訴訟及び国際仲裁の実戦経験も積んでいる。

※講演言語はすべて日本語です

## 受講料（1名）※税込

一般受講料	キャスト会員受講料
800円	700円

お申込方法は裏面をご覧ください

